



今月の主な内容

- 予算の執行状況
- 湧別町の漁業・農業
- マイナ救急

今月の表紙

どのチューリップがいちばん好き？
芭露保育所チューリップ公園見学

湧別町の 漁業・農業

湧別町の春の風物詩ともいえる、玉ねぎの移植作業やオホーツク海へのホタテ稚貝放流作業が行われ、本格的な農業・漁業の季節がやってきました。収穫の秋には大豊作、大豊漁を迎えられるようお祈りいたします。湧別町の基幹産業である農業と漁業の令和7年度概要をお知らせします。

漁業

国内の経済は、施設の整備や、雇用環境、所得の改善により、少しずつ回復していると言われています。しかし、アメリカの貿易政策や世界で起きている争いによる原材料不足、国際価格の高騰などから、日本では燃料や資材の値段が高騰する状態が続いています。また、人手不足により人件費や輸送にかかる費用も増え、漁業生産にかかる費用が増加しています。

漁業生産は、ニシンやカキは順調でしたが、気温の上昇により海水温が上がり、主要魚種である外海ホタテや秋サケは大幅な減産となりました。こうした気象変動は、水産業に深刻な影響を及ぼしています。

しかし、全国・全道的に生産量が減ったことで取引価格が高騰し、全体の売上金額は増加。結果、当初計画を大きく上回る生産高となり、最終的な販売金額は113億5200万円となりました。

魚種		数量 (トン)	販売金額 (千円)	販売金額 前年増減
魚類	サケ	498	669,746	-42%
	マス	26	16,000	22%
	カレイ	105	25,053	10%
	ホッケ	102	28,156	6%
	その他魚類	648	232,084	144%
魚類計		1,379	971,039	-26%
貝類	外海鮮ホタテ	16,266	4,793,367	8%
	外海ホタテ製品	594	3,298,111	34%
	養殖ホタテ	1,316	1,308,492	114%
	ホタテ稚貝	469	83,319	-20%
	カキ	570	613,303	-7%
	その他貝類	199	50,451	10%
貝類計		19,414	10,147,043	22%
水産動物	タコ	99	96,032	-49%
	毛ガニ	6	40,765	162%
	エビ	5	33,340	
	ウニ	3	50,134	10%
	その他水産動物	165	14,110	-80%
水産動物計		278	234,381	-27%
合計		21,071	11,352,463	14%
参考(前年度)		30,869	9,944,187	

湧別漁業協同組合調べ

漁業 ひとくちメモ

オホーツク海のホタテガイは、4～5月の春に産卵します。産卵1週間後には幼生となって海中を漂いながら生活し、0.3mmぐらいに成長すると色々なものに付着する習性があります。この習性を利用して、湧別町ではオホーツク海やサロマ湖にネット状の袋「採苗器」を設置して採取し、育成かごに移し替えてサロマ湖内で育成します。約1年間で4～5cmほどに成長した稚貝「ホタテの赤ちゃん」は、毎年5月、オホーツク海に放流されます。



農 業



雪解けが順調に進み、例年通りのタイミングで農作業を開始できました。しかし、6月上旬にまとまった雨が降ったものの、中旬から8月中旬まで干ばつが続いたため、酪農や畑作の収量や品質に影響が出ました。また、9月以降は悪天候が多く、収穫作業に少し遅れがありました。全体としては順調に進みました。

主力作物である玉ねぎは、6月中旬からの干ばつと猛暑の影響で、茎葉が倒れる時期が早まったことで球があまり大きくなり、収量は平年を下回りました。小麦は、生育が早く進みすぎた結果、細麦傾向や小粒になり、収量も平年より少なくなりました。

酪農・畜産では、乳量とデントコーンは平年並みでしたが、牧草の収穫に影響が出ました。1番草は十分に収穫できたものの、干ばつと猛暑の影響で2番草は草丈が短くなり、平年より収穫量が減りました。一方で、牛の個体販売価格は、乳牛資源の減少が続いている影響もあり、需要が高まって前年を上回る価格で取引され、安定した一年となりました。

品 名	上湧別地区 (JA えんゆう)		湧別地区 (JA ゆうべつ町)		合 計		販売金額 前年増減	
	販売量 (トン)	販売金額 (千円)	販売量 (トン)	販売金額 (千円)	販売量 (トン)	販売金額 (千円)		
農 産 物	小麦	1,479	96,523	1,449	76,401	2,928	172,924	-18%
	馬鈴しょ	686	20,031	939	58,178	1,625	78,209	50%
	てん菜	8,057	131,296	11,875	184,162	19,932	315,458	-4%
	スイートコーン		1,989		12,491		14,480	8%
	南 瓜	2	145	2,007	137,394	2,009	137,539	31%
	玉ねぎ	27,286	4,131,943			27,286	4,131,943	10%
	ブロッコリー	35	16,770			35	16,770	-34%
	大 豆	240	23,873			240	23,873	2%
	その他：豆類、長芋など		87				87	-12%
	農 産 物 計		4,422,657		468,626		4,891,283	8%
畜 産 物	生 乳	43,510	5,227,631	72,255	8,663,776	115,765	13,891,407	7%
	個体販売など		695,918		2,344,965		3,040,883	25%
	畜 産 物 計		5,923,549		11,008,741		16,932,290	9%
合 計		10,346,206		11,477,367		21,823,573	9%	
参 考 (前年度)		9,591,980		10,405,170		19,997,150		

JA えんゆう、JA ゆうべつ町調べ

農 業 ひとくちメモ



最新情報はこちら
オホーツク湧別バイオガス(株)ホームページ



令和7年10月に完成したバイオガスプラントが、本格的に稼働しています。この施設では、町内25戸の酪農家から集めた家畜の糞尿を発酵処理しています。発酵によって生まれるメタンガスは発電の燃料として利用され、発酵後に残った液肥や堆肥は畑に還元されます。さらに、良質な再生敷料は農場で牛の寝床として活用されています。



令和7年度 予算の執行状況

財政事情の公表は、本町の財政状況を皆さんに知っていただくため毎年2回行っています。

今回は、令和7年度の一般会計と特別会計、公営企業会計について、令和8年3月31日現在の予算の執行状況などをお知らせします。

※4月1日から5月31日まで前年度予算の未収・未払いを整理する出納整理期間が設けられているため、この数値は令和7年度の最終決算とは異なります。

一般会計 予算執行状況

一般会計の最終予算額は、当初予算と比較して14億5,098万円増の127億1,484万円となっています。

収入済額は97億6,968万円（収入率76.8%）、支出済額は104億377万円（執行率81.8%）となっています。

予算額のうち、畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業などで約7億8,429万円を令和8年度に繰り越して執行します。

特別会計・公営企業会計 予算執行状況

特別会計・公営企業会計は、6事業会計全体で歳入予算額が37億4,815万円、歳出予算額が38億9,705万円となっています。

全体の収入済額は34億9,094万円（収入率93.1%）、支出済額は35億5,840万円（執行率91.3%）となっています。

地方債

町の借金である地方債は、後に交付税として補われる「過疎債」などを最優先に借り入れしており、償還によって財政が圧迫されないように計画的な財政運営に努めています。

基金の状況

基金残高は、取り崩して使用した繰入額が積立額を上回ったため、前年度より約2,045万円の減となっています。

一般会計

町税などを主な財源として、行政の基本的な経費（福祉や教育、土木など）の経理をする会計です。

歳入 97億6,968万円（収入済額）

予算総額 127億1,484万円
収入済額 97億6,968万円
収入率 76.8%

項目	予算額	収入済額	収入率
町税	13億4,190万円	13億2,040万円	98.4%
地方交付税	43億7,755万円	44億8,918万円	102.6%
譲与税・交付金等	4億6,920万円	5億1,927万円	110.7%
使用料・手数料	2億171万円	1億9,366万円	96.0%
国・道支出金	26億2,364万円	15億7,058万円	59.9%
町債	24億2,710万円	6億100万円	24.8%
その他	12億7,374万円	10億7,559万円	84.4%

歳出 104億377万円（支出済額）

予算総額 127億1,484万円
支出済額 104億377万円
執行率 81.8%

項目	予算額	支出済額	執行率
総務費	34億2,974万円	28億674万円	81.8%
民生費	20億9,729万円	15億7,145万円	74.9%
衛生費	8億695万円	7億5,696万円	93.8%
農林水産業費	21億7,045万円	13億7,737万円	63.5%
商工費	3億9,038万円	3億6,964万円	94.7%
土木費	11億1,850万円	10億1,334万円	90.6%
消防費	6億5,483万円	5億3,157万円	81.2%
教育費	7億2,208万円	6億5,615万円	90.9%
公債費	12億7,129万円	12億7,122万円	99.9%
その他	5,333万円	4,933万円	92.5%

特別会計・公営企業会計

事業目的を限定して、特定の収入を特定の支出にあてて経理する会計です。

会計名	収入			支出		
	予算額	収入済額	収入率	予算額	支出済額	執行率
国民健康保険	14億4,836万円	12億6,554万円	87.4%	14億4,836万円	13億308万円	90.0%
後期高齢者医療	1億7,880万円	1億7,805万円	99.6%	1億7,880万円	1億7,718万円	99.1%
介護保険	11億8,441万円	11億7,107万円	98.9%	11億8,442万円	10億1,273万円	85.5%
水道事業※	2億7,170万円	2億2,132万円	81.5%	3億2,572万円	3億1,699万円	97.3%
簡易水道事業※	1億3,466万円	1億3,140万円	97.6%	1億5,182万円	1億4,822万円	97.6%
下水道事業※	5億3,022万円	5億2,356万円	98.7%	6億793万円	6億20万円	98.7%

※は公営企業会計

一時借入金状況 (会計間運用含む)

年度内に一時的な資金の不足を補うために借り入れするお金です。

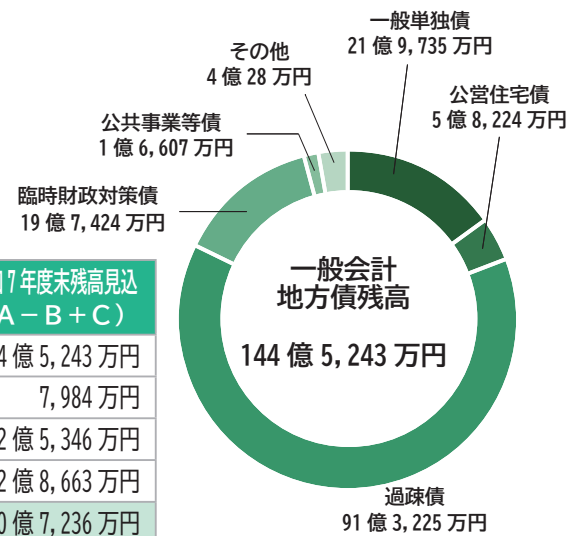
会計名	借入金残高
一般会計	22億円
国民健康保険	7,000万円

地方債

町の借金です。多額の財源が必要となる事業に対して地方債の発行（借金）が認められており、将来その利益を受けられる世代と負担を分担する、世代間の公平機能もあります。

地方債残高の約68%は、今後地方交付税で措置されます。

会計区分	令和6年度末残高(A)	令和7年度償還額(B)	令和7年度中借入予定額(C)	令和7年度末残高見込(A-B+C)	
一般会計	132億7,444万円	12億281万円	23億8,080万円	144億5,243万円	
公営企業会計	水道事業	6,870万円	1,166万円	2,280万円	7,984万円
	簡易水道事業	2億7,422万円	2,386万円	310万円	2億5,346万円
	下水道事業	13億6,291万円	1億3,298万円	5,670万円	12億8,663万円
合計	149億8,027万円	13億7,131万円	24億6,340万円	160億7,236万円	



基金の状況（令和7年度末残高見込み）

町の貯金です。特定の目的のために財産を維持し、資金を積み立て、または定額の資金を運用するために設けられる資金・財産です。

基金区分	令和6年度末高	令和7年度積立額	令和7年度繰入金	令和7年度末基金残高	
財政調整基金	55億2,286万円	1億7,372万円	1億6,361万円	55億3,297万円	
減債基金	9億4,599万円	129万円	0万円	9億4,728万円	
特定目的基金	旧国鉄代替輸送確保基金	6億1,678万円	114万円	2,500万円	5億9,292万円
	ふるさと創生基金	5億1,518万円	314万円	3,900万円	4億7,932万円
	地域福祉基金	3億6,029万円	200万円	1億円	2億6,229万円
	畑かん施設整備基金	1億143万円	109万円	0万円	1億252万円
	公共施設整備基金	4億1,086万円	185万円	0万円	4億1,271万円
	スポーツ・文化振興基金	4,420万円	50万円	0万円	4,470万円
	中山間地域農村活性化基金	1,000万円	0万円	0万円	1,000万円
	ふるさと応援基金	4,263万円	1億6,290万円	4,100万円	1億6,453万円
	森林環境譲与税基金	9,958万円	1万円	0万円	9,959万円
定額運用基金	6,062万円	52万円	0万円	6,114万円	
合計	87億3,042万円	3億4,816万円	3億6,861万円	87億997万円	

町民1人あたりに
換算すると…
(R8.3.31人口 7,694人)

地方債（借金）
約187万8千円

基金（貯金）
約112万4千円
(定額運用基金を除く)

オホーツク管内町村平均
(R6決算)は…

地方債（借金）
約144万3千円

基金（貯金）
約74万2千円